

## 各位

会社名 株式会社テクノクリエイティブ  
 (コード番号 9335 TOKYO PRO Market、Fukuoka PRO Market)  
 代表者名 代表取締役 三嶋 一秀  
 問合せ先 取締役 経営企画室 室長 松田 英明  
 T E L 096-386-2360  
 U R L <https://www.techno-creative.co.jp/>

## 業績予想と実績値の差異及び営業外費用の計上に関するお知らせ

当社は、2025年6月30日に、その時点での業績の動向等を踏まえ、2024年11月14日に公表した2025年9月期の業績予想を修正いたしましたが、本日公表した実績値との間に差異が生じましたので、下記の通りお知らせいたします。また、営業外費用を計上することとなりましたので併せてお知らせいたします。

## 1. 業績予想と実績値の差異について

## (1) 2025年9月期通期業績予想と実績の差異 (2024年10月1日～2025年9月30日)

(単位：百万円)

|                          | 売上高   | 営業利益   | 経常利益   | 当期純利益  | 1株当たり<br>当期純利益 |
|--------------------------|-------|--------|--------|--------|----------------|
| 前回発表予想 (A)               | 6,275 | 193    | 120    | 68     | 34.00 円        |
| 実績 (B)                   | 6,128 | 135    | 60     | 37     | 18.60 円        |
| 増減額 (B-A)                | △ 147 | △ 58   | △ 60   | △ 31   |                |
| 増減率 (%)                  | △ 2.3 | △ 30.0 | △ 49.6 | △ 46.0 |                |
| (ご参考)                    |       |        |        |        |                |
| 前期通期実績 (C)<br>(2024年9月期) | 5,843 | 114    | 108    | 32     | 16.14 円        |
| 前期増減額 (B-C)              | 285   | 21     | △ 48   | 5      |                |
| 前期増減率 (%)                | 4.9   | 18.2   | △ 43.8 | 15.2   |                |

## (2) 業績予想と実績の差異の理由

2025年6月30日付で開示した業績予想修正においては、2025年9月期第4四半期以降の半導体市場環境の回復を見込んでおりました。当社主要顧客である半導体製造装置メーカーにおいても、生産装置の増産や当社への発注拡大を想定し、業績の上昇を予想しておりました。

しかしながら、AIやEV等の新分野に対する需要拡大への期待が高まる一方、景気変動やスマートフォン・PC向け製品における在庫調整、サプライチェーンの不安定化、主要国間の摩擦等の影響を受け、製造装置需要は当初見込を下回り、受注が減少いたしました。その結果、生産台数の減少や一時的な人員稼働率の低下等が生じ、想定を下回る推移となりました。

この結果、売上高・営業利益・当期純利益はいずれも前期比では増収増益となったものの、2025年6月30日公表の業績予想修正値をいずれも下回る水準で推移いたしました。また、経常利益につきましては、後述の営業外費用の計上が影響し、前期比及び2025年6月30日公表の業績予想修正値を下回る結果となりました。

## 2. 営業外費用の計上について

### (1) シンジケートローン手数料の計上

当社は、2024年3月27日付で開示しました「固定資産の取得（新工場建設）に関するお知らせ」のとおり、2025年9月期において新工場（ファクトリーセンター益城）の建設に伴い、シンジケートローン調達時に発生したアレンジメントフィー及びエージェントフィー等、総額49百万円の手数料を資金調達費用として営業外費用に計上いたしました。これにより、当期の経常利益には一時的な負担が生じております。

なお、2024年10月2日付で開示しました「シンジケートローン契約締結に関するお知らせ」のとおり、2024年10月31日付で、株式会社みずほ銀行をアレンジャー兼エージェントとするコミットメント期間付タームローン契約を締結しております。

### (2) 業績に与える影響

上述の営業外費用の計上により、当期業績は前期比で減益要因となりました。しかしながら、本件は財務基盤の強化及び将来投資への対応を目的としたものであり、中長期的な収益力への影響は限定的と認識しております。

なお、本日付で公表した「2025年9月期 決算短信〔日本基準〕（非連結）」において、これらの内容を反映しております。

以 上